



社内報は会社の軌跡を示し、 これからも社員みんなの 愛社精神を育む存在です。

皆さんのお手元に届くブライイトネスは本号で100号となりました。
春号(4月)・夏号(7月)・秋号(10月)・新春号(1月)の年4回発行ですから、
記念すべき今号への到達には四半世紀の長い年月が重なっています。
今回は三和サービス・林正和社長にお話をうかがいました。

●2001年にスタートした社内報「ブライイトネス」が今号で100号を迎えました！まずは社長の思いをお聞かせください。

社長 はい、率直に100号に至ったことは本当にすごいです。とだと思っています。

かつては編集委員会といっていました。広報委員会の皆さんには心から感謝しています。メンバーの皆さんはそれぞれの業務があり忙しい日常ながら、それとは別に広報委員として活動してくれています。毎号内容を吟味し、テーマごとにリサーチしたり、執筆したり。外部デザイナー会社のスタッフ陣と連絡を取り合って、毎号興味深い編集内容にまとめてあげています。委員の尽力をあらためてねぎらいたいと思います。

●ありがとうございます。そう言っていただけると張り合います。

社長 年4回発行の社内報が100号を迎えたということから、スタートから25年もの月日が流れていますから、良いも悪



●どんな記事が印象に残っていますか？

社長 その時々、タイムリーなテーマで編集してもらっていますから、どの記事が、ということはありません。でも、100号を数える社内報は前にも言いましたように、会社としての25年の軌跡そのもの。時代の流れに乗り遅れないように、会社としても必死に世界や社会の動きについて行きました。その動きが反映されているブライイトネスは会社の大切な資料です。たとえば、記念すべき1号では岐阜県医師会館を紹介していますが、その医師会館も昨年建て直して新しくなり、月日の流れを感じます。

ブライイトネスは年4回発行しているので、会社の細かい動きを伝えることができます。現場が増えていったことなど、良い記事、良い企画が多いですね。毎号、その時に一番いい情報が詰まっている。精査された情報が詰まっていると思います。

また、ブライイトネスは社員同士のコミュニケーションツールにもなっています。かつては社員同士の親睦を図るため、誕生日会

のなかには「直接現場に行つて、現場からそのまま帰る」という人が多く、自分の会社を知らない、本社に行ったこともないという人もいます。そこで、三和つてどんな会社？どんな人がいる？今どんなことをしている？といったことを伝え、皆さんはその三和の一員ですよ！という認識、誇りを持ってもらうように。帰属意識というのでしょうか、繋がっていると意識を持ってもらいたくて始めました。また、社内報には会社の方向性を伝えるという役割もあります。

いも含めて、ブライイトネスは我が社・我がグループの歴史。会社の足跡をたどる時に大いに役立つ存在です。たとえば、いつからどの指定管理施設の管理運営を担ったか？とか、コロナ禍にどんな努力や工夫をして対応してきたか？といったことも振り返ることができます。

ちなみに「ブライイトネス」というネーミングは社員の公募によるもので、当時、本社管理部に在籍していた岩田わか菜さんが提案したものが採用されました。輝き、という意味を持つブライイトネスは、なるほど、我が三和グループにふさわしいタイトル。今でも岩田さんのネーミングセンスに感心します。

●スタート当初はどのような思いがあったのでしょうか。

社長 振り返りますと、本社ビルを現在の場所に新築し移転したのが1999年。心機一転、新社屋での業務開始が契機となり、ブライイトネスや三和グループ安全衛生大会がスタートしました。いずれも現在も継続しています。

スタート時、社内報の目的は「社員の皆さんに会社のことをもっと知ってもらう」ということだったと思います。社員

●次は200号を目指して頑張ります！

社長 大いに期待しています。これからもどうぞよろしくお願いたします。

現在の社内報は会社側から皆さんに発信していくのが大半ですが、今後はデジタルの力も活用し、受け取る側すなわち社員の皆さんから声があがってくるような仕組みを。その理由は、他人事としてではなく、自分事として会社のことを捉えてほしいから。「まあいいや」「仕方ないわ」で終わっていくと、きつといつか嫌になってしまう。声をあげてみて、それがちよつとも反映されたら誰だってうれしいはず。どこからでも声があがってくるのが理想で、ブライイトネスがそのきっかけになっていたらと。ブライイトネスが目指すのは愛社精神の浸透。愛社精神が育っていくと、いいと考えています。

●社内に期待することは何でしょうか？

社長 限られたスペースにどう内容を盛り込むか。会社の魅力やポテンシャルについて積極的に発信してほしいと思います。

私たち三和グループは、世の中に必要とされる仕事をしている。そのなかで皆さんが働いている。我々の仕事は社会に還元されていて、その中に皆さん一人ひとりがいることをぜひ知ってほしい。

●世の中、デジタル化が進んでいますか？

社長 そうですね。でも、このブライイトネスに関しては、私は紙媒体のほうが良いと今のところ思っています。紙のほうが印象に残り、そこに意味があると。

紙媒体の良さは、皆さんがその内容にきちんと目を通して、伝えたいことが伝わるということ。それに対して、スマホやPCなどデジタルの場合、サッと見ただけでわかつたつもりになってしまふことも多いのではないのでしょうか。

これからは年4回、社内報を皆さんに届けることで、「自分はこの会社に勤めているんだ。自信や誇りを持っていいんだ」と皆さんに思ってもらえたらと願っています。

●定期的に届けることに意味がありますか？

社長 社内報を手にした皆さんが、いい意味で会社に馴染んでいく。繰り返し社内報を目にする中で「私も会社のために頑張ろう」と思ってもらえるものを届けたいと思います。そのためにも、もちろん、会社自身ももっと頑張っていくかなと思います。



ビルメンテナンス業におけるトイレ便器の 日常清掃教育の重要性

●発表者/株式会社三和サービス 林 直人



三和サービス・林直人 営業部長の発表内容をダイジェスト版でお届けします。ビルメンテナンス業における「トイレの日常清掃」は重要な業務です。清掃員のレベルアップや体力温存などを目的とする「清掃員への適切な教育」は、企業の成長にもつながっていくことを、以下、順を追って説明されました。

「トイレ便器の日常清掃教育」についてご説明いたします。

まず、トイレ清掃は建物の印象を大きく左右する重要な業務です。特に便器の清掃品質は、利用者の満足度に直結します。そこで重要になるのが、清掃員への適切な教育です。

正しい清掃方法を教育することで、清掃員一人ひとりのスキル向上、すなわちレベルアップに繋がります。

また、効率的な作業手順を身につけることで、無駄な動きを減らし、体力の消耗を防ぐことができます。

これにより、作業負担が軽減され、働きやすい環境が整い、結果として継続雇用にも繋がります。

さらに、適切な清掃は便器のガラス質、いわゆる釉薬を傷めることなく保護します。

これにより、便器の美観を長期間にわたって維持することが可能となります。

清潔で美しいトイレ環境は、利用者の満足度向上に直結し、顧客満足の実現します。

その結果、既存顧客との契約継続、いわゆる随意契約の獲得や、入札時の指名機会の増加にも繋がります。

最終的には、これらの積み重ねが企業の信頼性向上となり、新たな営業機会の拡大へと発展します。

以上のことから、トイレ便器の日常清掃教育は、単なる作業指導ではなく、企業成長に直結する重要な取り組みであると言えます。



サンワのWw!

作/三宝よしこ No.29



特別企画 『社内報ブライトネス100号突破!』

社内報ブライトネスの100号発行を記念して、過去の社内報に掲載された内容からクイズを出題します。正解者の中から、正解率によって抽選で豪華景品をプレゼントします!!

右記のQRコードを読み取り、**ブライトネスのアーカイブ**から**答えを探しましょう!**
ブライトネスのアーカイブはこちら▶



【問1】ブライトネス1号

□おすすめスポットは、どこでしょう?



【問2】ブライトネス11号

□林会長新年のあいさつで、「〇つのキーワードで進みたいと思います。」…「〇つのキーワードを一人ひとりが考え、実行すれば、必ず勝者の道を見い出せる年になると確信しております。」とありますが、〇にはいる数字は何でしょう?

【問3】ブライトネス21号

□News Flashで紹介された日本最大級のショッピングモールはどこでしょう?

【問4】ブライトネス31号

□会長の挨拶の中で危機は何と言っているのでしょうか?

【問5】ブライトネス41号

□お仕事プチ探訪の場所はどこでしょう?

【問6】ブライトネス51号

□表紙の絵の中にある生き物は何でしょう?

【問7】ブライトネス61号

□仕事場ちょっと拝見で取り上げられた施設はどこでしょう?

【問8】ブライトネス71号

□2018年12月に認証取得したISOの規格は何でしょう?

【問9】ブライトネス81号

□SDGsの国際目標の数はいくつでしょう?

【問10】ブライトネス91号

□会長がおすすめする映画のタイトルは何でしょう?



豪華景品を手に入れよう!!



応募方法 下記のGoogleフォームから応募してください。応募時に「名前」と「社員番号」を入力いただき、在職者であることを確認します。

応募期間 2026年4月28日～5月末
抽選日 2026年6月10日(水) 15:00～
当選発表 社内報「ブライトネス」7月号で発表

参加応募・クイズの回答は
こちらのGoogleフォームから



『社員の皆様にもおすすめ!!』

ワタミ新商品の特別販売

太田宿中山道会館で販売中の人気商品を三和グループ社員の皆様に特別販売いたします。元気に楽しく働くためにも健康が一番!暑さや日々の疲れに負けない丈夫な体を維持するのにオススメです!

オーガニック 大人の生姜シロップ

手間暇をかけて大きく育ったオーガニックの生姜をすりおろして、まるごと使用した大人のための生姜シロップです。飲み物に。お料理に。シーンにあわせてお楽しみください。



1本/1,580円(税込)

菊芋茶ペットボトル 500ml

イヌリンたっぷり! ワタミ菊芋茶がペットボトルになりました!水溶性食物繊維「イヌリン」が

1本/240円(税込) 主成分の国産有機菊芋を100%使用した菊芋茶です。ほんのり甘くてとても飲みやすい味で食事にもよくあいます!

ご注文はこちらから

右記のQRコードを読み取り、Googleフォームからご注文いただけます。



2025年 最優秀作品賞
労働安全衛生標語
危ないぞ
言える勇氣と聞く心
みんなで作ろう
ゼロ災職場

◆◆◆ 編集室から ◆◆◆

な、なんと!社内報100号突破しました。社内報編集委員のほとんどが1号からの編集者です(笑)編集長の私もその一人です。社内報を作ろうとの提案は、現在の会長です。ただ、言うは簡単です。最初はどれくらいまで続くのだろうか? 続けていけるのだろうか? 不安の中のスタートでした。続けることは歴史を作ることです。今回その歴史を作りました。1号から変わらず応援してくださった方。本当にありがとうございました。ネクスト200号を目指して広報委員会は進んでまいります。応援よろしくお願ひ致します。100号を記念いたしまして豪華景品を用意いたしました。過去の社内報を読んでいたか懐かしんでいただけることが問題の答えです。たくさんの方のご応募お待ちしております!ぜひご参加ください。

三和グループ社内報 2026年 春号(令和8年4月25日発行)
発行所 株式会社三和サービス
本社/〒500-8286 岐阜市西鶯1丁目52番地
電話/058-273-5653(代)
Brightness

社内報への投稿を募集しています!

どんな内容でも結構です。みなさんの投稿で社内報を盛り上げましょう!投稿希望の方は「投稿フォーム」またはお電話にてご連絡ください。



社内報投稿フォーム
本社「広報委員会」:TEL 058-273-5653(代)